



2025 年度 MFJ モーターサイクルスポーツ殿堂顕彰者が決定

一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会（MFJ）は、日本のモーターサイクルスポーツの歴史を後世に伝え、輝かしい実績のあった選手ならびに関係者を顕彰するため、2018 年度より「MFJ モーターサイクルスポーツ殿堂」を設立いたしました。

本年は功労者部門を対象として本橋 明泰氏、片山 義美氏、隅谷 守男氏の 3 名を選出させていただきました。顕彰式は 2025 年 12 月 20 日(土)に東京ポートシティ竹芝（東京都港区）で開催される MFJ MOTO AWARDS 2025 にて実施予定です。

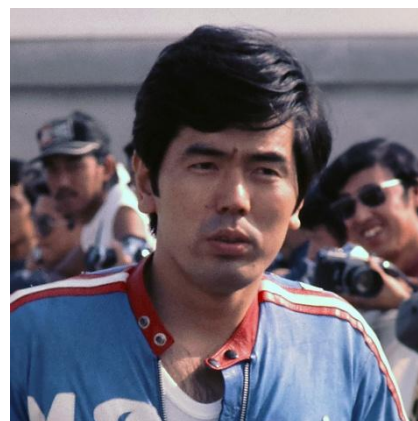
◆2025 年度 MFJ モーターサイクルスポーツ殿堂 顕彰者



本橋 明泰 氏



片山 義美 氏



隅谷 守男 氏

◆選考理由

日本のロードレース競技は、1960 年代の創始期から 1990 年代の国際レベル飛躍期まで、各時代で内容や発展段階が大きく異なる。本選考では、その黎明期である創始期に活躍し、国内ロードレースの普及と発展の基礎を築いた人物の功績を評価対象とした。

特に、我が国におけるロードレース競技の発展には、本橋明泰氏と片山義美氏（故）と隅谷守男氏（故）の貢献は特筆に値する存在となったことを称え、ここに顕彰する。

MFJ モーターサイクルスポーツ殿堂評議会
委員長 大久保 力

..... このリリースに関するお問い合わせは.....

一般財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会（MFJ）

〒104-0045 東京都中央区築地 3-11-6 築地スクエアビル 10F

Tel: 03-5565-0900 / email: mfj@mfj.or.jp

.....

本橋 明泰（もとはし あきやす）氏 1939 年生／東京都出身

国内初の全日本ロードレース選手権開催に際し、高い技術の評価されヤマハチーム入りを果たす。第 1 回全日本ロードレース選手権のノービス 250cc クラスに参戦、予選でポールポジションを獲得。1964 年の鈴鹿で開催された日本グランプリにて世界グランプリ初参戦、125cc クラスで 6 位入賞を果たした。1966 年から世界グランプリへ参戦し、日本グランプリ 250cc クラス 3 位のほか好成績でヤマハチームの一翼を担った。各国のコース特性に応じたマシンセッティング能力にも優れた点も評価されたライダーである。長期にわたり国内外のレースにおいて常に上位成績を重ね、今日の国内ロードレース界の基盤づくりを牽引した。若手ライダーに対してもコーナリング技術などの走り方を教え、後進育成にも尽力した。



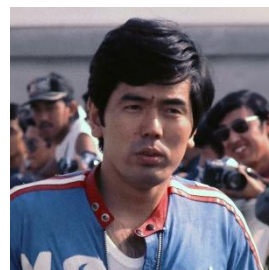
片山 義美（かたやま よしみ）氏 1940 年生／兵庫県出身

我が国のロードレースは 1962 年に鈴鹿サーキット開設によって本格化したが、それ以前の 1961 年に埼玉県米軍基地で開催された全日本ロードレースが国内初の完全舗装路によるレースである。そのレースにおいて片山義美氏はホンダ CB305 改を駆り、見事優勝したライダーである。翌年 1962 年には吉村秀雄氏（ヨシムラジャパン創業者）らの尽力によって博多・雁ノ巣飛行場でレースが開催され、片山義美氏はこのレースにおいても上位を獲得する活躍を見せた。若手育成グループ「木の実レーシング」と名付けた将来のロードレーサーを目指す若手ライダーの育成グループを結成し、走行技術の研究に励みながらヤマハチームで鈴鹿サーキット開設記念大会で優勝を飾った。1966 年からスズキで世界 GP へ参戦し、1967 年の 50cc クラスで世界ランキング 2 位を獲得する活躍を見せた。



隅谷 守男（すみや もりお）氏 1944 年生／群馬県出身

1965 年に第 1 回全日本選手権ロードレース大会 350cc クラスで優勝し、鈴鹿 10 時間耐久ロードレースで 2 位、1968・69・70 年の鈴鹿 10 時間耐久ロードレースでは盟友の菱木哲哉選手とのコンビで 3 連覇を達成。全日本選手権シリーズでのチャンピオンなど輝かしい成績を残したライダーである。当時、不利とされていた 4 サイクルエンジンを独自に改良し、優れたコーナリング技術を武器に 2 サイクルエンジン勢に果敢に挑んだ。1972 年には日本人で初めて鈴鹿サーキットで 2 分 30 秒を破り、マイク・ヘイルウッドの持つコースレコードを破ったことで日本のオートバイロードレース界が新たな段階に入った事を実証し、多くのライダーに希望を与えた。



..... このリリースに関するお問い合わせは.....

一般財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会（MFJ）

〒104-0045 東京都中央区築地 3-11-6 築地スクエアビル 10 F

Tel: 03-5565-0900 / email: mfj@mfj.or.jp

●MFJ モーターサイクルスポーツ殿堂 概要

- 目的
- ・ 日本のモーターサイクルスポーツの歴史を後世に伝える
 - ・ 輝かしい実績のあった選手・関係者を顕彰する

- 役割
- ・ 過去に功績のあったライダー・関係者等を殿堂入りとして顕彰すること
 - ・ 殿堂入りの基準を定め、候補者を選抜すること
 - ・ 過去の競技結果・映像・画像・歴史の収集
 - ・ 専用ホームページの設置・更新

MFJ 殿堂評議会：委員長 大久保 力 副委員長 森脇 南海子
委員 坪内 隆直 委員 隠岐 直廣

●MFJ モーターサイクルスポーツ殿堂 過去の顕彰者

2018 年度 高橋 国光 氏、伊藤 光夫 氏
2019 年度 本田 宗一郎 氏、吉村 秀雄 氏
2021 年度 久保 和夫 氏、鈴木 忠男 氏、山本 隆 氏、吉村 太一 氏
2022 年度 藤井 璋美 氏
2023 年度 新井 理夫 氏、酒井 文人 氏、西山 秀一 氏、石塚 秀男 氏
2024 年度 成田 省三 氏、万澤 安央 氏

..... このリリースに関するお問い合わせは.....

一般財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会（MFJ）
〒104-0045 東京都中央区築地 3-11-6 築地スクエアビル 10 F
TEL: 03-5565-0900 / email: mfj@mfj.or.jp